



## 大図研京都支部総会のご案内

7月2日（金）

大図研京都支部会員の皆様へ

支部総会を下記の要領で開催致します。総会終了後には情報交換会が予定されております。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

### 記

日時：7月2日（金）午後7時から8時（終了後、情報交換会があります）  
 場所：京都大学 人間・環境学研究科総合人間学部図書館 2階会議室  
 （京都市左京区吉田二本松町） 電話 090-4287-3008

人間・環境学研究科総合人間学部図書館へのアクセス

JR 京都駅より

京都市バス京都駅前D2のりばから	206系統「京大正門前」下車
阪急河原町駅より	
京都市バス四条河原町のりば4から	201系統「京大正門前」下車
京阪出町柳駅より	
京都市バス出町柳駅前から	201系統「京大正門前」下車
地下鉄烏丸線今出川駅より	
京都市バス烏丸今出川から	201,206系統「京大正門前」下車
地下鉄東西線東山駅より	
京都市バス東山三条から	201,206系統「京大正門前」下車

人間・環境学研究科総合人間学部図書館の周辺地図は4ページをご覧ください

### 目次

大図研支部総会のご案内	…	1
大学図書館問題研究会第27回京都支部総会議案	…	2
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部図書館 周辺地図	…	4
薬学部図書館の蔵書点検 金森 孝之	…	5

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたはURLへお寄せください。

電子メール：dtkk@rg7.so-net.ne.jp（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/

## 大学図書館問題研究会第27回京都支部総会議案

### 【第1号議案】2003年度活動総括(2003.10~2004.6)及び 2004年度(2004.7~2005.6)活動方針

#### はじめに

国立大学は2004年4月から国立大学法人に移行されました。法人化された89国立大学・短大は中期目標・中期計画に基づき、2009年度までの6年間、運営に努め、達成状況に対する国の評価を受けます。評価は国からの運営費交付金額に反映されますが、各国立大学の図書館の予算も当然、影響を受けるでしょう。一方、2004年4月から新しい認証評価制度が始まります。この制度のもとで、国公私立の大学、短大、高専は、すべて政令で定める期間内に一度、自己・点検を行い、その結果を公表するとともに、政府が認証した評価機関から第三者評価を受けることを義務づけられることになりました。ここには行政が評価を運営費交付金、補助金、助成金等の配分に連動させて競争的環境を作りだしたり、あるいは改善勧告を出すことによって大学を統制するというかたちが出来ていますが、そこでは数値化しにくい図書館のサービスが、効率という名のもとに切り捨てられる可能性が出てきています。

このような状況下において、現場の図書館員は、予算と人員の抑制という問題をかかえつつ、サービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、図書館員ひとりひとりの専門的力が問われています。

個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、雇用形態を問わず、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを積極的にアピールしていかなければなりません。また、利用者や書店・出版関係者とも積極的に交流等、幅広い人的ネットワークを育み、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来ました。

#### 1. 2003年度活動総括

##### (1) 研究交流活動

2004年1月17日に近畿4支部合同例会「国立国会図書館と大学図書館の新たな連携に向けて」を開催しました。講師として竹内秀樹氏(国立国会図書館関西館事業部図書館協力課調査情報係長)と小島和規氏(国立国会図書館関西館事業部図書館協力課研修交流係長)をお呼びしました。プログラム前半の講師2人による報告を受け、後半は活発な質疑応答のうちに終了しました。参加者数は31名でした。

2004年4月29日には京都ワンディセミナー「館種を越えた図書館協力」を開催しました。講師として河原茂記氏(京都府立図書館資料課)と小河富代氏(京都市立太秦小学校教諭)を迎えるとともに、京都支部からは大館和郎(京都学園大学図書館)が報告をしました。その後、フロアを交えてのパネルディスカッションを行い、活発な議論が交わされました。参加者数は24名でした。

2004年6月12日には京都ワンディセミナー「図書館員のプロフェッション」を、京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室と共同で開催しました。

##### (2) 支部報

新しい会員から退職者まで、執筆者の幅を広げることに努めるとともに、支部委員が積極的に執筆す

ることを心掛けました。内容も全国大会や支部総会、新春合同例会等の報告・感想記事、会員の近況報告、連載記事(「京大図書館史こぼれ話」「本の紹介」「大図研京都数珠つなぎ」)などバラエティに富んだものになりました。担当者の数を増やして編集体制の強化をはかりました。

### (3) ホームページとメーリングリスト

支部委員会報告や行事の案内などコンスタントに情報を会員に提供するように努めてきました。速報的なものはメーリングリスト、より詳しくまとめたものはホームページというふうに使分けるところによって効果的な広報を心掛けてきました。

### (4) 組織活動

会員数は88名(2003年5月現在)から87名(2004年5月現在)と減少しました。さらに今後、退職や異動による退会が予想されるため、あらゆる機会をとらえ、積極的に勧誘を努めるなど、引き続き、組織的な取り組みが必要です。

### (5) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っているところです。

## 2. 2004年度活動方針

### (1) 研究交流活動

今年度も会員のニーズに応えた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成に役立てます。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実など、一層の努力をします。

積極的に会員間の交流の機会をつくることに努めます。

### (2) 支部報

定期発行に努めます。

会員の多様なニーズに応え、各人のスキルアップに貢献できる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に執筆していただけるよう努力します。

### (3) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。

### (4) 会費

会員としての義務である会費納入率の向上に努めます。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員にあらゆる機会をとらえ積極的・直接的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

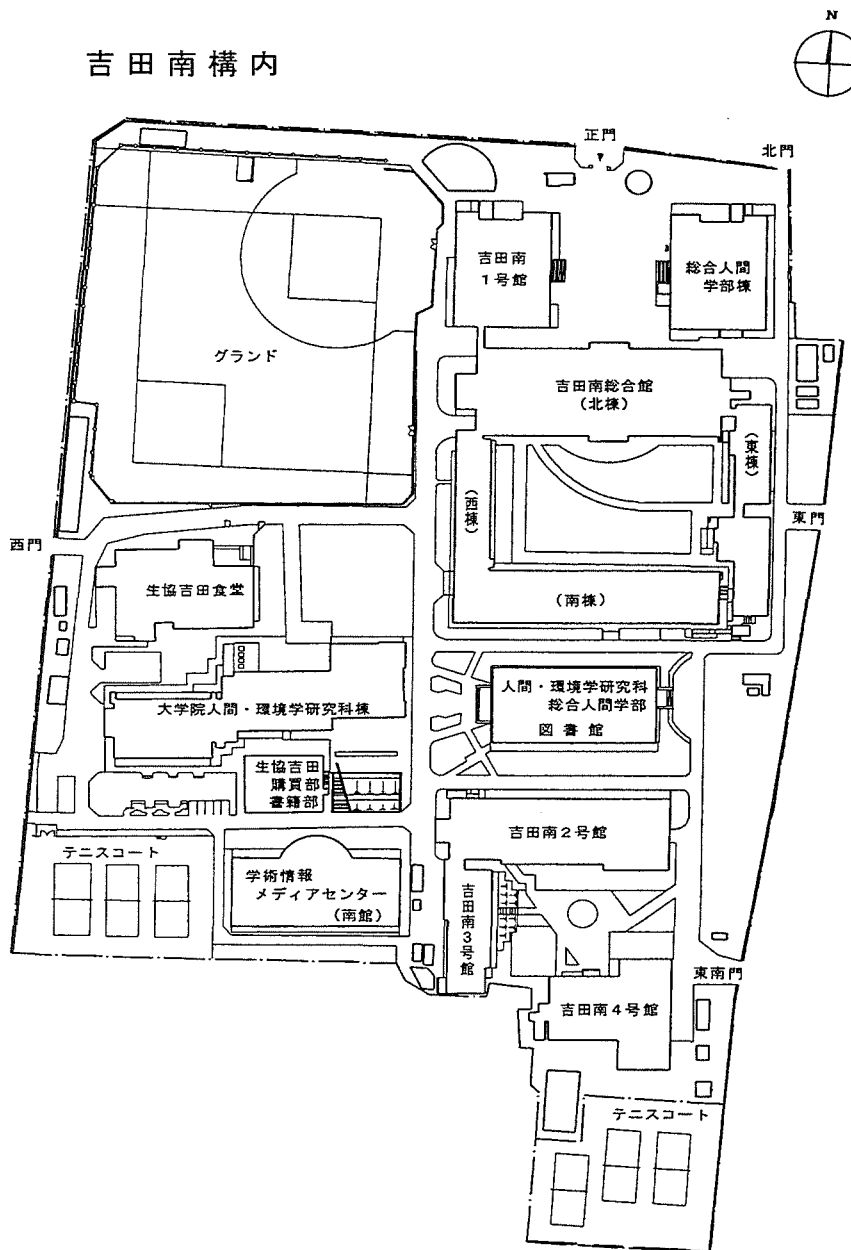
(以下の議案は当日配布)

【第2号議案】2003年度決算報告活動総括 及び  
2004年度予算及び会計監査報告

【第3号議案】2004年度支部役員選挙

京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館 周辺地図

市バス停留所「京大正門前」は地図の左上角付近になります。東大路通沿いに下がって西門か、東一条通を東に入って正門からお越しください。



## 薬学部図書室の蔵書点検

金森 孝之

いよいよ国立大学は平成16年度より法人化されることになった。法人化にあたっての図書館について何か書いてほしいとのことだが、何分にも京都大学の末端に位置する図書室にいる身にとっては、本館からの指示に右往左往するというのが実際のところである。そこで、薬学部図書室で実施した蔵書点検について報告することにしたい。

京都大学附属図書館が法人化するにあたっての最大の難問は、法人に引き継ぐ図書資産の確定であろう。京都大学全体では、蔵書冊数約600万冊という膨大な図書が所蔵されており、もしも本気に資産を確定するとなると一年くらいではおそらく不可能であろう。京都大学附属図書館本館では、平成14年に、大量のアルバイトを動員して、図書館原簿データベース構築を実施している。これは、明治以来京都大学附属図書館が受け入れた図書原簿をそっくりデータベース化するというものである。一方で、図書の蔵書点検については、あまりに大量ということで、他大学の様子を見るということになっていたように記憶している。図書原簿データベースが完成して、このまま蔵書点検もやらずに法人化を迎えられたらいいのだがと内心期待していたところ、「文教ニュース第1730号」の記事に、平成15年5月28日の国立大学部課長会議において、石川研究振興課長より以下のような発言があった。「図書の承継を円滑に行うため、図書原簿等に搭載されている図書と現品とを照合し、現物が存在しない図書については、破棄の手続きを行うなど、図書原簿等を整理しておくとともに、承継する資産を適切に把握するよう準備を進めていただきたい。」

これを読んで、蔵書点検は必至と覚悟を決めた。はたして、本館で開催された図書系事務連絡会において、12月26日が締切で、蔵書点検をするように依頼があった。7月頃から薬学部において、どのように蔵書点検を実施するか思案を始めた。蔵書点検の回答方法には二種類あり、現物のある総ての図書について報告する方法と、どの図書が不明かを報告する方法の二つである。薬学部は、蔵書冊数約5万冊と少ないことでもあり、総ての図書についての所蔵調査を実施することにした。薬学部はちょうど建物の改修工事がはじまっており、その間、図書室の蔵書点検はできないため、8～9月については、教室にある図書について先生方に調査を依頼して回答してもらうことにした。

図書室の蔵書の調査は、10月始めからの開始で三ヶ月間ということになる。図書室で開架書架に配架されている図書についてはOCRラベルが添付されているため、OCRリーダーを使って点検が可能である。OCRラベルが添付されていない資料については、通常二人一組になって読み合わせておられるのではないかと思う。薬学部には三人しか職員がいないため、二人組でやることは無理と判断して、音声認識ソフトが使えないかと市販のソフトを調査した。音声認識ソフトはいくつか市販されているのだが、本当に役立つかどうかは使ってみないと分からない。その中でもアスキーが売り出している「ドラゴンスピーチ」というソフトがなんとか使えるのではないかという感触があった。蔵書点検は数字を読み上げるだけであるが、このソフトには数字認識モードというものがあり、数字だけを認識することが出来るということであった。早速に購入して、インストール。このソフトで面白いのは、まず新規ユーザーのトレーニングというものがあり、機械にその人の声を認識できるのかテストをするのである。これは簡単にクリアした。そして数字モードにして、作業を開始した。数字だけに限った認識はけっこう正確で、実用になると思った。しかし、よく似た発音の「しち」、「いち」などはよく間違っているので、どう読んでいくかは、工夫がいる。私の場合は、二桁づつをまとめて「にじゅうなな」、

「さんじゅういち」というように読み上げた。特別に大きな声を上げる必要もなく、正確に発音しようと意識しながら読み上げればよいようだ。ラップトップの画面の数字を見えるところに置いて確認しながらの作業であった。読み上げてすぐに表示されないで、ちょっと間を置いて数字が出る。だいたいじょうぶかと心配し、ちゃんと認識してくれると「なかなかやるやんか」と内心思う。ただし、周囲に騒音があると作業は無理である。音声認識ソフトを利用するくらいことはほかでもやっているかと思っただ、ここが最初の試みらしい。多くの先生方からも協力頂き、期日までには報告することができた。

その後、資産ファイルで薬学部が所蔵していることになっている図書から現物があつた図書を除いた、現物がない図書（不明図書）のリストがこちらに送付されて確認作業があつた。この後に不明図書を資産から削除することになるが、いったん本館に図書を供用換して、まとめて廃棄処分することになった。薬学部の資産を記録している供用簿があるのだが、昭和37年12月に薬学部の火事があつたためか過去のものについては記録が不確かな部分があるため、供用簿との照合までは省略したのだが、後で、他部局の蔵書が混じっていることが判明して、冷や汗をかいだ。やっと終わったと喜んでいたら、後で供用簿に供用換のハンコ押し、学情の目録からの消去、カードの引き抜きをしなくてはいけないとの指摘があり、今は、後処理をずっとやっている。

4月からの法人化を待つばかりというところだが、法人化したといっても図書室のやっていることは同じことなのでなんとかなるだろうと思っている。これからは、年一回は蔵書点検をすることになるかもしれないが、少しでも、負担なくすみやかにできるように今後の蔵書点検計画を考えたい。4月には、薬学部建物の改修工事も終了する。工事中は多くの方々に御迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、心機一転4月からの法人化を迎えたい。

かなもり たかゆき（京都大学薬学部図書室）

#### ◆◆◆会費納入のお願いとご報告◆◆◆

新緑も目にまぶしい初夏の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。年初より、会費の納入に多大なご協力いただき、誠にありがとうございました。当方の不手際により、ご協力いただいた皆様に領収書をお届けする作業が遅れております。会員の皆様から、支部運営のための会費をお預かりする立場として、支部委員一同深く反省すると共に、支部委員の役割分担と連繫を見直し、今後の支部運営が円滑に行われるよう努力してまいります。今後とも、皆様のより一層のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、領収書の発行につきましては、できるだけ早くお届けできるよう、財政担当委員を中心に努力しております。大変申しわけございませんが、今しばらくお待ちいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。会費の納入につきまして、疑問

な点などございましたら、どうぞ遠慮なくお近くの支部委員までお尋ねください。

また、何らかのご都合でまだ本年度以前の会費をお預かりしていない皆様は、随時納入を受け付けておりますので、お近くの支部委員までお声をおかけいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

大学図書館問題研究会費	¥5,000
京都支部会費	¥2,000
合計	¥7,000

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員にことづけていただきますようお願いいたします。

郵便振替振替口座番号 01090-4-5904

大学図書館問題研究会京都支部

ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部 dtkk@rg7.so-net.ne.jp までお願いいたします。